岐阜市ゼロカーボン市民懇談会 2.0
第 2 回　脱炭素に向けて(住生活と交通)
令和 8 年 10 月 10 日(土)　9 時～12 時
参加者：39 名　（無作為抽出参加者 32 名、令和 7 年度参加者 7 名）
進行：神田浩史(NPO 法人ぎふ NPO センター 理事)

・前回の振り返り
今回を含めて 3 回でアクションプランを作成していく 6 つのグループに分かれて、
前回のグラフィックレコーディングも見ながら、振り返りを行いました。



・講演：三上直之氏/市民懇談会アドバイザー(名古屋大学大学院環境学研究科教授)
「各地で展開される気候変動対策に向けての市民の議論の場
●岐阜市ゼロカーボン市民懇談会のように、全国各地で開催されている「気候市民会議」についての話がされました。
●気候市民会議が生み出す効果の一例として、以下が紹介されました。
・埼玉県所沢市では、同市の環境基本計画の改定に反映された。
・茨城県つくば市では、市長が 74 項目すべてに対応することを約束。市の温暖化対策実行計画の改定が 1 年前倒しに。
・神奈川県厚木市では、得られたアクションプランを実行に移す、市民主導の「未来プロジェクト」が始まる。



・講演：伊東真吾氏(一般社団法人さすてなら専務理事、
一般社団法人市民エネルギー京都専務理事、
株式会社コープエナジーなら取締役)
「わたしたちの暮らしとゼロカーボン　～住まいと移動編～」
●住居の断熱レベルと年間の冷暖房費の比較、断熱性の高い窓の効果の紹介
●小中学生と共に自分たちの学校の断熱改修ワークショップを行った事例の紹介
●EV(電気自動車)の技術の進歩
など、私たちの身近な住居と交通を中心に、ゼロカーボンに向けた取り組みが語られました。



・アクションプランの形成

グループで、以下の 3 つのまとめイメージに分けてアクションプランの作成に取り組みました。

●市民プラン【情報発信編】

「興味関心のない人」・「まずは何か始めたい人」・「できることを探したい人」「もっと行動したい人」などそれぞれの対象へどんな情報を、どうやって届けるのか、まとめる。

●市民プラン【アクション編】

「家での過ごし方」「移動の仕方」「買い物の仕方」「ごみの分別回収」など、様々な場面で取れると良い行動をまとめる。

●市民プラン【制度政策編】

個人でなく社会全体で行う内容についてまとめる。

最後に三上アドバイザーと伊東講師からコメントをもらい、終了しました。

